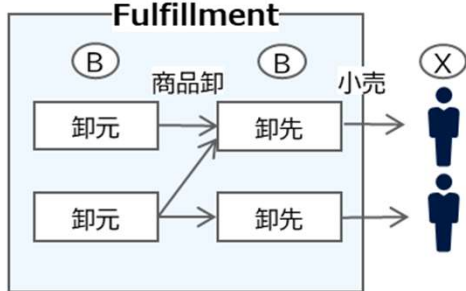
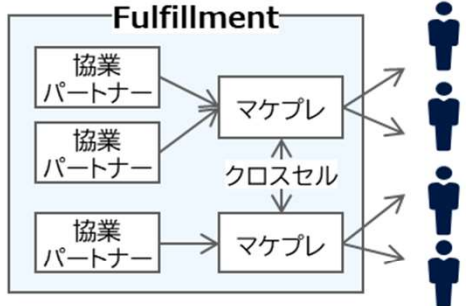
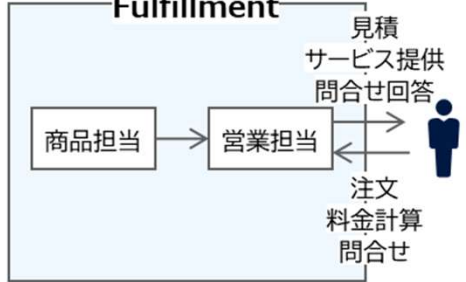


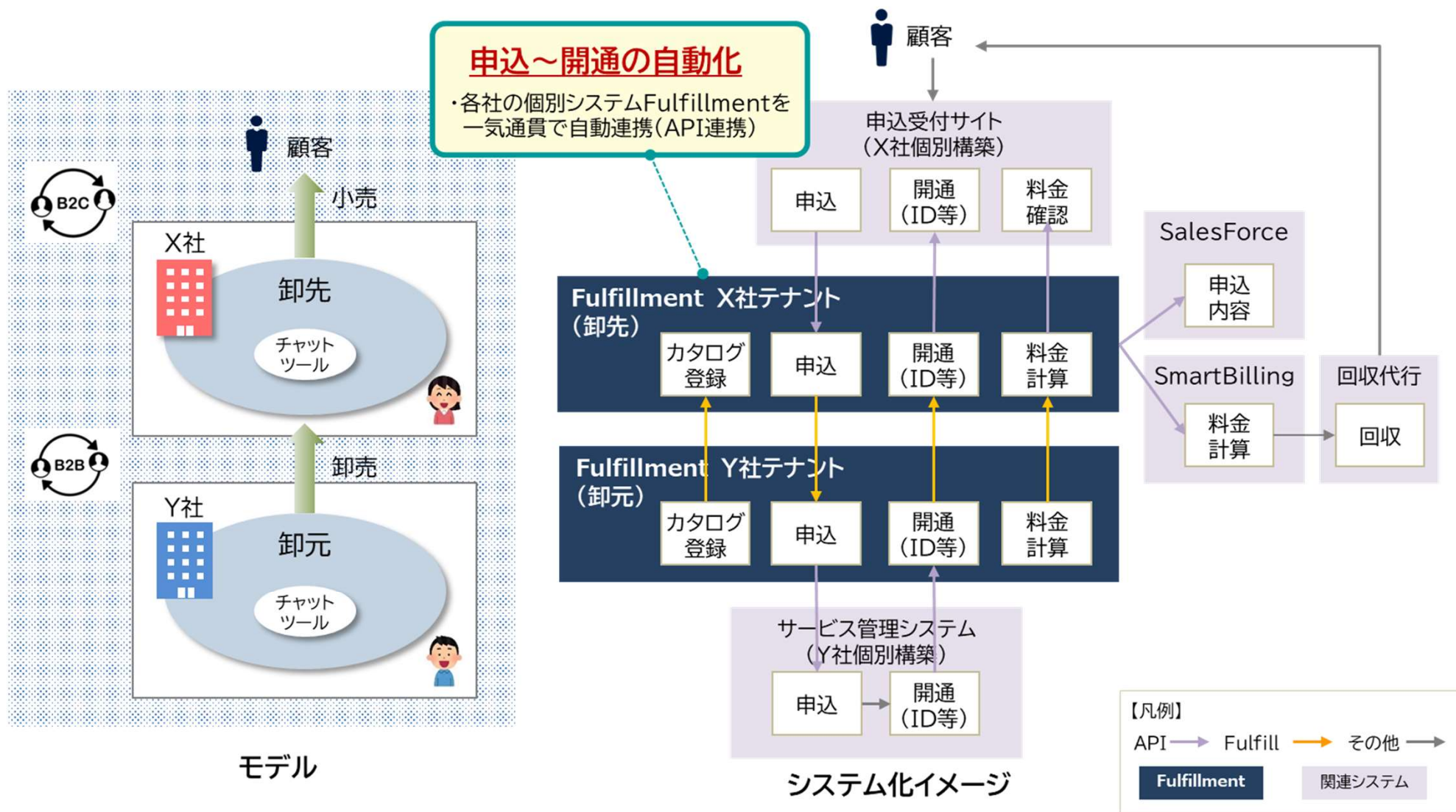
Fulfillmentの活用事例について

主な活用パターン

パターン		概要	モデル (→ :提供)
1	B2B2X 基盤	多段の商流ビジネスをサポートする基盤としてご利用頂けます。 (卸元や小売会社が複数のケースにも対応可能です)	
2	マーケット プレイス 基盤	協業パートナーの商品をマケプレに集約して販売する形態としてご利用頂けます。 (マーケットプレイス間でのクロスセルも実現できます)	
3	事務処理 効率化	- 社内の販売事務処理を効率化する形態としてご利用頂けます。 - 社外からの簡易な問合せ対応ツールとしてもご利用できます。	

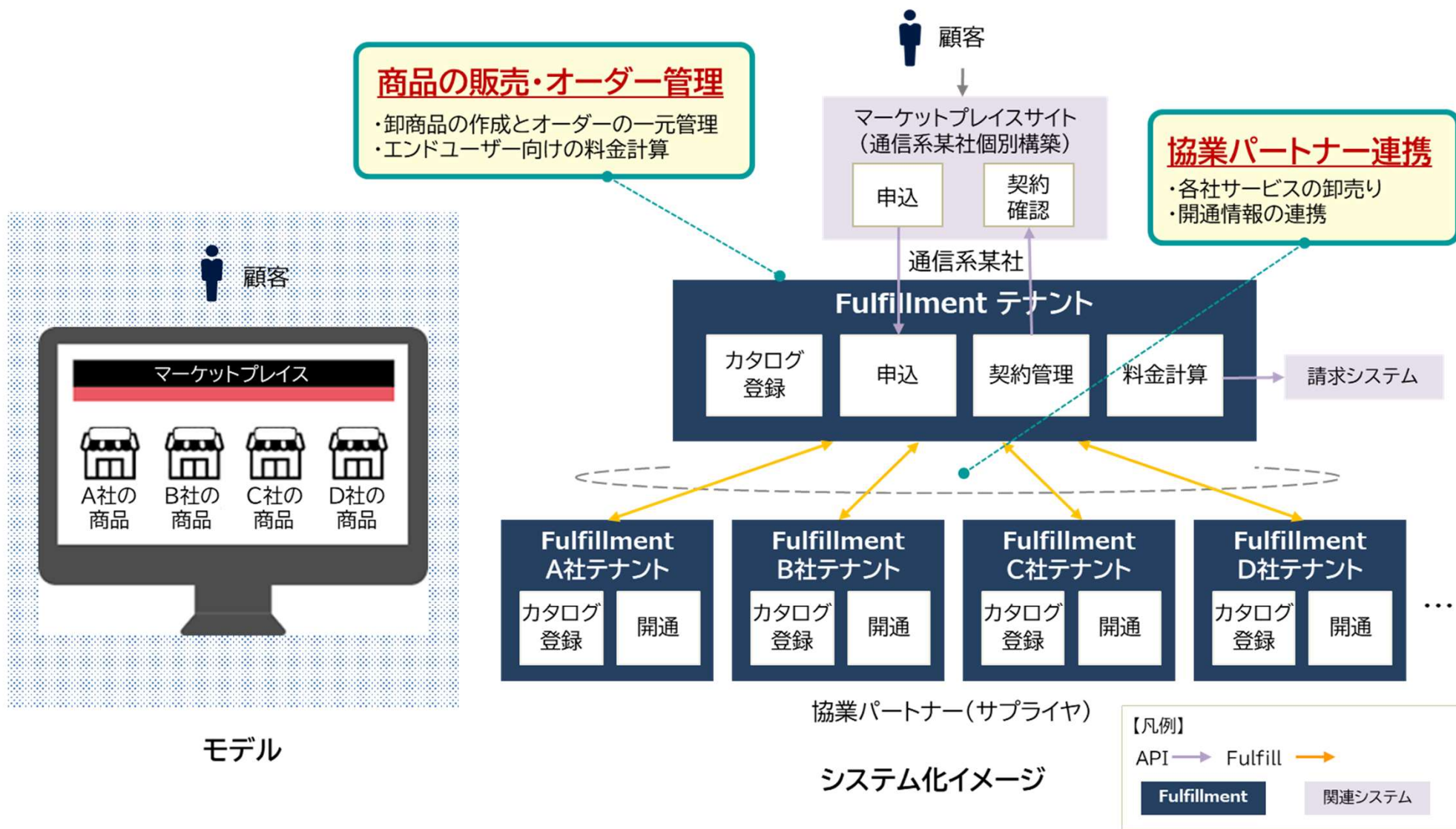
導入事例 ①国内:B2B2X基盤

- 卸先X社と卸元Y社では、チャットツールの販売において、現行の自社システムとFulfillmentを自動連携させることで、これまで手作業が介在していた申込から開通までの業務を大幅に効率化しました。



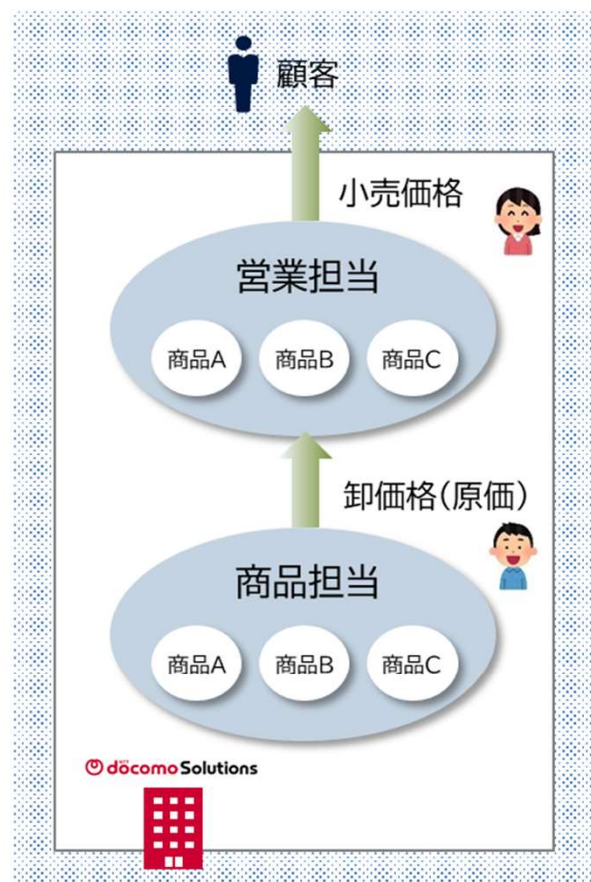
導入事例 ②国内:マーケットプレイス基盤

- 通信系某社では、自社商品、および複数の協業パートナーからの卸商品の販売・オーダ管理について、**短期間・低コストでシステム化**し、マケプレ事業を開始しました。

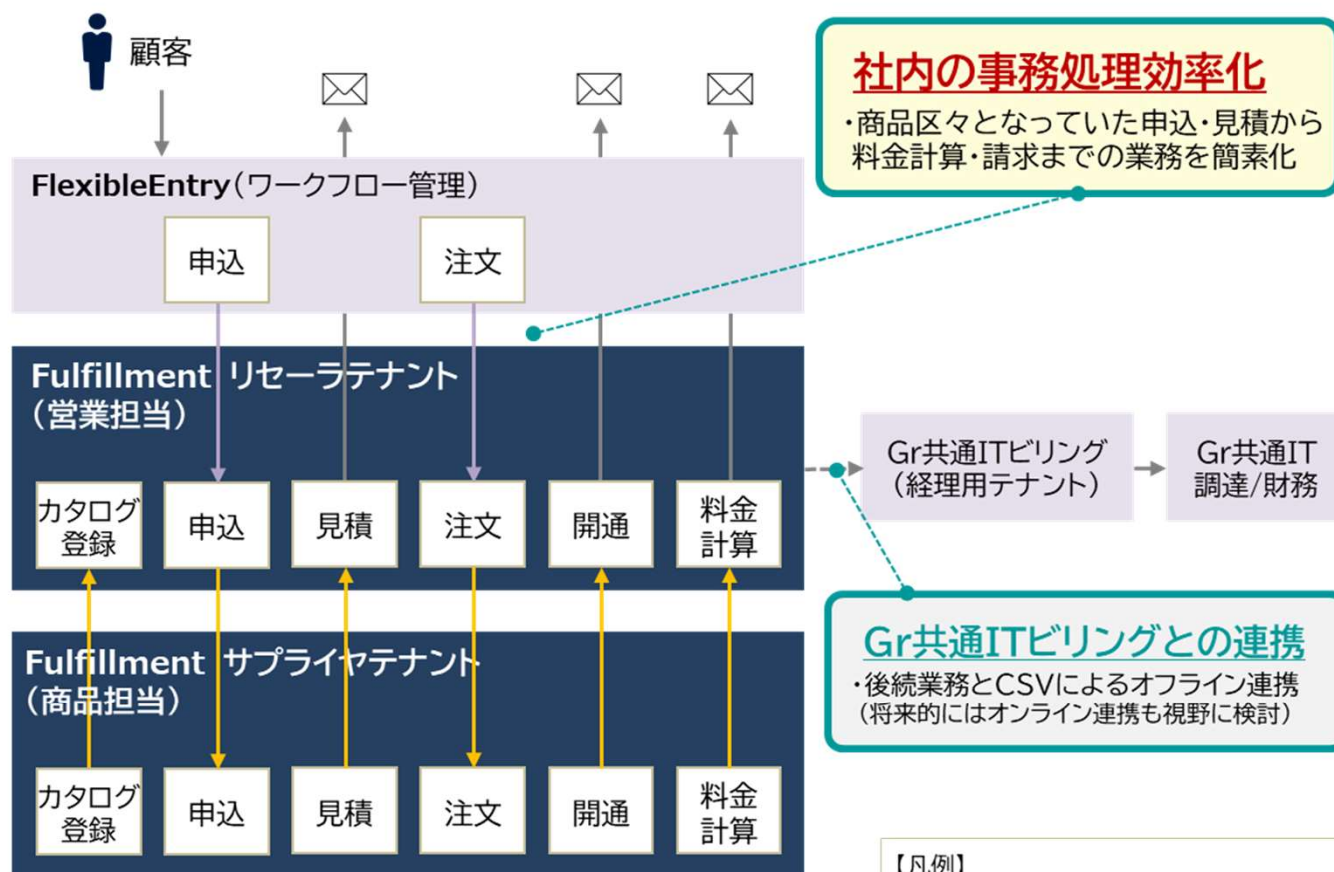


導入事例 ③国内:事務処理効率化

- 販売業務における社内の事務処理効率化を目的に、後続業務のGr共通IT(共通系)の運用も踏まえ、Fulfillmentを活用した業務の簡素化・システム化の取り組みを進めています。
- お客様からの申込状況のステータス管理(見える化)や見積書などの作成・メール送付の自動化により、人手ミスの防止を図りながら、これまで煩雑かつ商品区々であった業務プロセスを簡素化しています。



モデル



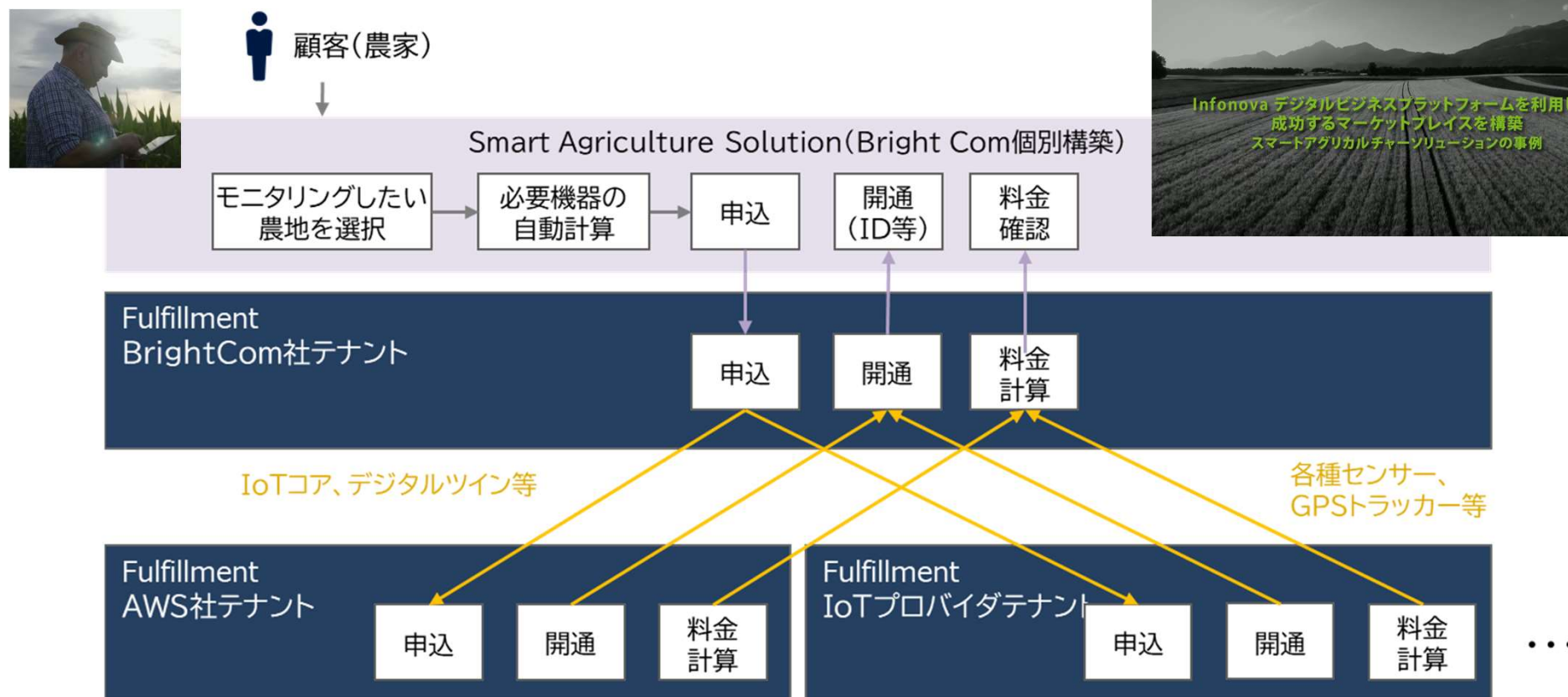
システム化イメージ



導入事例 ④海外・PoC

- Smart Agriculture Solutionでは、農家が希望した農地に対して必要なIoTデバイスやNW等を1社 (BrightCom) がトータルで提供し、複雑なパートナーへの連携・コントロールをFulfillmentで行いました。
- 各社が指定する料金計算方法に対応することで、パートナー間の収益化を自動で実現しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=svbW1AeYu6Y>



システム化イメージ

【凡例】

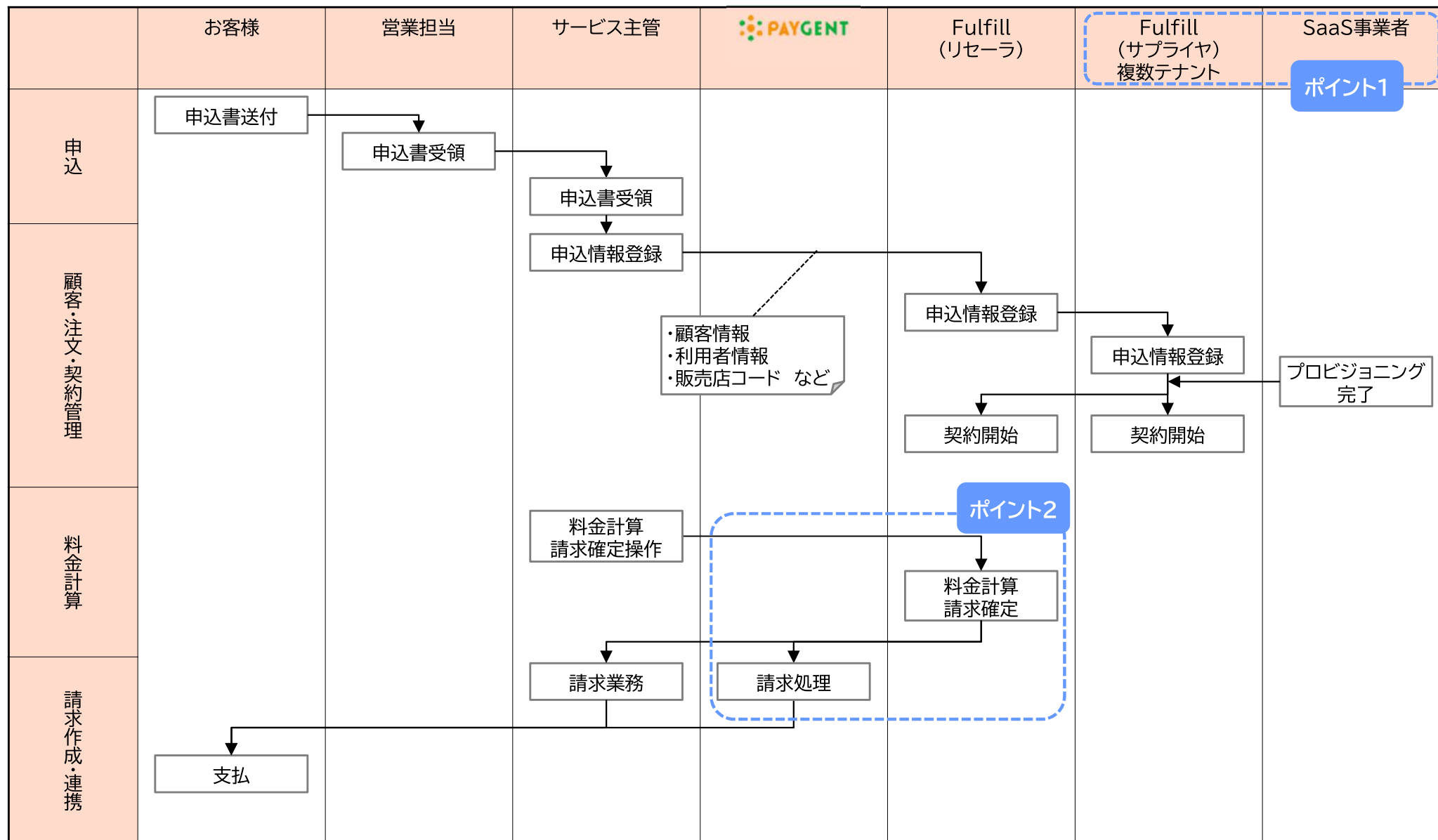
API → Fulfillment →

Fulfillment

関連システム

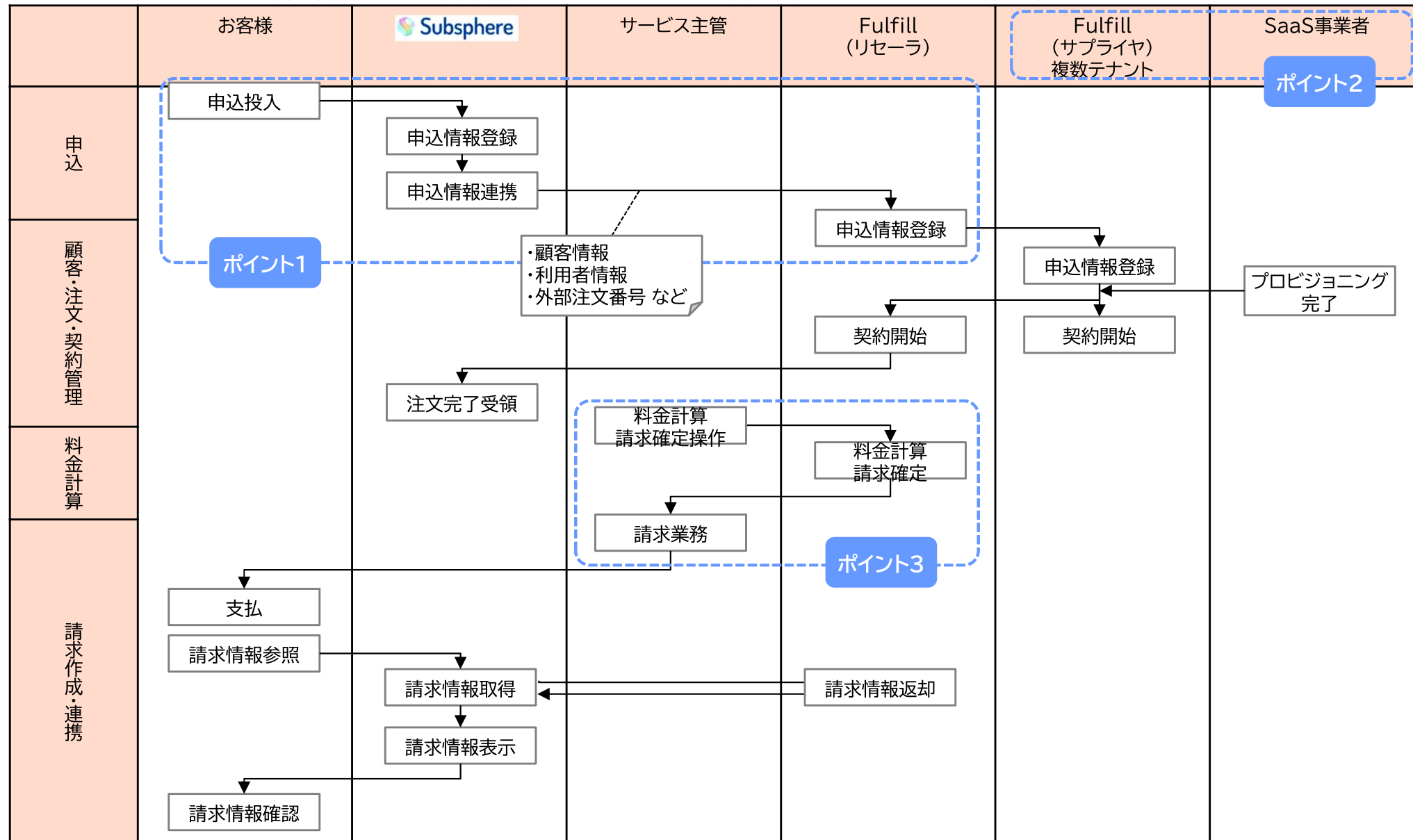
利用例

- ポイント1:SaaS事業者がそれぞれFulfillサプライヤテナントを保有し、注文管理、契約管理を行います。
- ポイント2:Fulfillでの請求確定を契機に、Fulfill→請求システムへ請求情報をAPI連携します。



利用例

- ・ポイント1:お客様はSubsphereより申込登録。申込情報はシステムA→FulfillへAPI連携します。
- ・ポイント2:SaaS事業者がそれぞれFulfillサプライヤテナントを保有し、注文管理、契約管理を行います。
- ・ポイント3:Fulfillが料金計算を担い、計算結果をもとにサービス主管にて社内システムにより請求業務を実施します。



利用例

- ・ ポイント1:料金計算は他システムが担い、Fulfillは従量課金(1円=1件)として請求取込します。
- ・ ポイント2:Fulfillでの請求確定を契機に、Fulfill→請求システムへ請求情報をAPI連携します。

